

## 有田川川口水力発電事業性評価調査

### 1. 調査の目的

昭和 28 年に発生した水害により廃止された水力発電所を活用できるか調査を行う。導水路トンネルは廃止された当時のまま残地されていると推測される。この導水路トンネルがそのまま活用可能であれば、発電所建設におけるコストダウンが期待できる。今回実施する事業性評価調査にて、導水路トンネル内部調査、坑内測量、周辺測量を実施し、水力発電所の事業性評価を実施する。

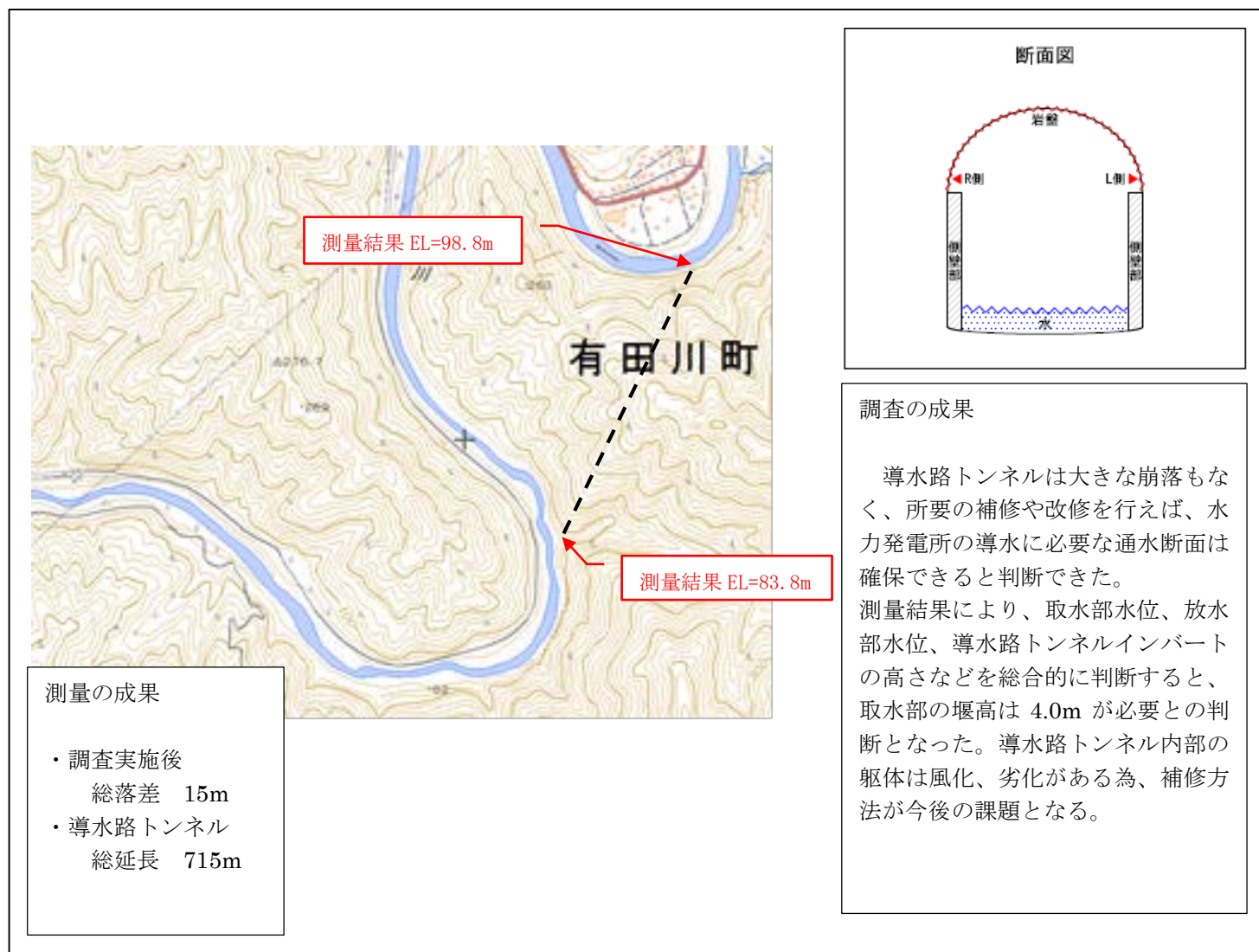
### 2. 調査の内容

- (1) 事業者名  
株式会社 大林組
- (2) 事業名  
有田川川口水力発電事業性評価調査
- (3) 事業期間  
平成 28 年 12 月 9 日 ~ 平成 29 年 2 月 8 日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
  - a.型式 : 水路式
  - b.使用水量 : 7.5m<sup>3</sup>/s(想定)
  - c.有効落差 : 14.5m
  - d.出力 : 900kW

### 3. 平成 28 年度の事業実施概要

- ① トンネル内部調査  
導水路トンネル内部調査として、変状調査、岩盤強度調査、水質調査を実施した。
- ② 坑内測量調査  
導水路トンネル坑内の線形測量、横断測量、水準測量を実施した。
- ③ 周辺測量調査  
遺構跡現況測量、河川横断測量を実施した。
- ④ 事業性評価  
上記①②③の調査報告により、設備配置検討及び事業性評価を実施した。

### 4. 調査の成果等



### 5. 調査事業スケジュール

調査内容	平成 28 年度		
	12 月	1 月	2 月
導水路トンネル内部調査			
坑内測量調査			
周辺測量調査			
事業性評価			
支払			